

## 3

## 空気のあたたまり方

## 教師用指導例

4年 啓林版 p.62~63

**問題** 空気は、どのようにあたたまるだろうか。

【学習指導要領との関連】 内容A 物質・エネルギー

(2) 金属、水、空気と温度

イ 金属は熱せられた部分から順に温まるが、水や空気は熱せられた部分が移動して全体が温まること。

【必要な道具】

インスタントかいろう ピーカー 線香 アルミニウムはく 割り箸 エアコン（学校の設備による）

【アクティブ・ラーニングを意識した授業の流れ】

## 1 問題を見つける.....

**指示1** 理科学習ノートの62ページを開きます。「問題」を読みましょう。

(空気は、どのようにあたたまるだろうか。)

**指示2** 読んだところをなぞりましょう。

## 2 問題を追究する.....

**指示3** 「予想」を読みます。(部屋の空気はどのようにあたたまりますか。□に○をかきましょう。)**発問1** 部屋でストーブをつけるとどのようにあたたまっていくでしょうか。**(あ)**, **(い)**, **(う)**の3つから選んで、○をかきます。**指示4** 手を挙げましょう。**(あ)**に○を書いた人。**(い)**に○を書いた人。**(う)**に○を書いた人。**指示5** 予想した理由をお隣同士で発表し合ってみましょう。

(・金属と同じように、ストーブから部屋のすみまで順にあたたまっていくから。

・水と同じように、あたたかい空気は上に動くから。)

※63ページ「自由ノート」に予想した理由を記入させてもよい。

※ここでも意見を出させて、質問させたり、賛成・反対を確認したりして話し合わせてよい。

**指示6** 「実験④」を指でおさえましょう。

※準備物や観察方法にチェックを入れて、確認する。

**説明1** 線香の煙の動きで、空気の動きがわかります。**指示7** 理科学習ノート62ページの「結果」を指で押さえます。実験したことを記録しましょう。

(実験して結果を記録する。)

**指示8** 下の「自由ノート」に実験してわかったことを書きましょう。**指示9** わかったことが書けたら、お隣さん同士で発表しましょう。

※空気のあたたまり方は、金属ではなく水と同じことをおさえる。

## 3 討論する 4 異なる考えを認める.....

## 説明2

実験から、あたためられて温度が高くなった空気は上に動き、温度が低い空気は下に動くことがわかりました。

## 発問2

エアコンを使って教室（部屋）全体をあたたかくします。エアコンの吹き出し口はどのように向いていると、いちばん早くあたたまるでしょうか。次の3つから選びます。

- 1 吹き出し口を上に向ける。
- 2 吹き出し口を下に向ける。
- 3 吹き出し口を真ん中の位置に向ける。

※学校の設備によっては、エアコンを吹き出し口がどのようにになっているか、観察させることもできる。

## 指示10

手を挙げてください。1だと思う人。2だと思う人。3だと思う人。

## 指示11

予想した理由を「自由ノート」に書きます。

- (・1だと思う。あたたかい空気が上に送られて、天井から順にあたたかくなっていくから。)
- ・2だと思う。温風が下に送られて、あたためられた空気が上に動いて全体があたたまるから。)
- ・3だと思う。まっすぐ風が部屋のすみに送られて、上と下の空気を同時にあたためることができるものから。)

## 指示12

書いたことをお隣同士で発表し合ってみましょう。

※全体でも意見を出させて、質問させたり、賛成・反対を確認したりして話し合わせる。

## 5 まとめる.....

## 説明3

エアコンの吹き出し口が下を向いているのは、足下の温度が低い空気があたためられて上に動くからですね。反対に吹き出し口が上を向いていると、足下の空気がなかなかあたたまりません。

※P.62「エアコンのだんぼう」で答えを確認できます。

## 指示13

63ページの「まとめ」を指で押さえます。空気のあたたまり方について、( )に合う言葉を書いてまとめましょう。